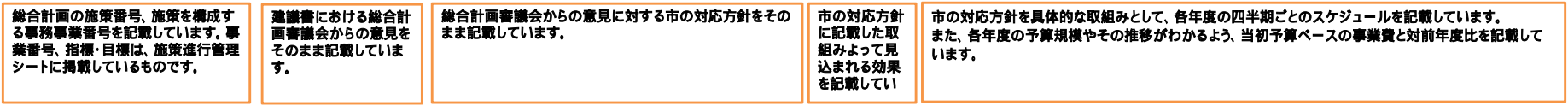


総合計画施策進行管理「改善工程表」の見方



施策No.	施策を構成する事業		建議書における総合計画審議会からの意見(平成24年11月)	意見に対する市の対応方針(改善内容)(平成24年12月)	改善によって見込まれる効果	スケジュール(工程)					所管局による自己評価(平成25年7月ごろ)(改善工程表の事後評価)		
	事業No	事業名及び目標・目標				年度	事業費(千円)対前年度比(%) 【当初予算ベース】	事業費の増減要因	年次計画	第1四半期		第2四半期	第3四半期
施策1 地域福祉の推進(所管局・健康福祉局)													
1-4	福祉コミュニティ形成事業	[H24指標・目標] 15地区で実施 [H25指標・目標]	福祉コミュニティ形成事業について、「予定どおり進んでいる」とのことだが、「事業を実施している地区が増えれば地域福祉が進む」ということは、やや短絡的な考え方である。むしろ、「どのような活動が進んでいるのか、について、施策を構成する主な事業の取組結果の実績・評価欄に記載されたい。 福祉においても財政的負担の観点から、市民の自助意識を高めて、連携していく方向で施策を組み立ててほしい。 地域福祉の推進を図ることのできるサブ指標を設定されたい。	次回1次評価に際しては、実績・評価欄について、単に地区数を記載するのではなく、各地区で取組を進めている事業の内容やその評価について、記載するよう改める。 地域福祉施策を組み立てるに当たっては、個人、地域、行政がそれぞれ行うべき役割分担を明確にしたうえで、互いに連携を図る必要がある。このため、市民に対しては、自助や共助の重要性と取組内容について、広報紙等による情報発信を充実していく。 「地域福祉の推進」の指標については、数値化した指標を数多く(設定することが難しいため、指標1を補完する指標としては、次回から、施策を構成する事務事業ごとの「指標・目標、欄」や「総合分析及び市の自己評価」欄を使用し、事業内容やその効果がより具体的に分かるよう改める。	情報発信や他分野との連携を強化することで、福祉コミュニティ形成事業の必要性や効果を多くの市民に知ってもらい、多様な担い手を確保し、福祉コミュニティの構築を推進していく。	24	12,580 6.6%	実施地区数の増(12地区 15地区)	連携強化 情報発信の充実 実施状況	・地区社協代表者会議への出席 予定どおり	・地域福祉計画連絡会議の開催 予定どおり	・福祉コミュニティ形成事業の内容をまとめた広報紙を作成 遅れ	
						25	-		連携強化 情報発信の充実 実施状況	・地区社協代表者会議への出席	・地域福祉計画連絡会議の開催	・福祉コミュニティ形成事業の内容をまとめた広報紙を作成	
1-5	地域福祉活動推進事業	[H24指標・目標] 福祉のまちづくり推進協議会、新規加入数:1団体以上 [H25指標・目標]	校内での総合学習も含め、学校教育や社会教育と連携し、意識の向上に向けた取組を実施されたい。		学校教育においては、ボランティアチャレンジスクールやハンディキャップ体験講座等を実施しており、社会教育でも、公民館の事業において福祉講座等が開催されている。今後とも市民の福祉に対する意識向上に向け、これらの事業を推進していく。	24	/	/	/	/	/	/	/
						25	-	/	/	/	/	/	/
1-6	民生(児童)委員活動推進事業	[H24指標・目標] 欠員の補充を図るとともに、民生委員・児童委員の活動しやすい環境づくりを図るため、民生委員・児童委員の活動のあり方や方向性について検討を進める。 [H25指標・目標]	民生委員、児童委員活動推進事業の取組結果において、活動しやすい環境づくりに関して、方向性を検討するということを記載しているが、具体的な目標を記載されたい。	民生委員活動の負担軽減等について、市民生委員児童委員協議会とともに検討を進め、平成25年12月の民生(児童)委員の一言改選までに、負担軽減策等を取りまとめる。	民生(児童)委員の欠員の減少	24	104,845 -0.2%	民生委員推薦会の開催回数変更に伴う減額	民生(児童)委員の活動のあり方等について検討 実施状況	・庁内向けに民生委員に関する課題調査の実施 予定どおり	・市政に関する世論調査の実施 予定どおり	・市民生委員児童委員協議会とともに検討 予定どおり	
						25	-		12月に民生(児童)委員の一言改選 実施状況	・民生委員の一言改選事務 →	・民生委員の一言改選		